

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 8 月 26 日 (2004.8.26)

【公開番号】特開 2000-254314 (P2000-254314A)

【公開日】平成 12 年 9 月 19 日 (2000.9.19)

【出願番号】特願 平 11-66262

【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 E

A 6 3 F 7/02 3 0 8 B

A 6 3 F 7/02 3 5 2 L

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 8 月 15 日 (2003.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

主制御部が、払出個数データを払出し制御部に出力し、前記払出個数データに応じて前記払出し制御部が払出し可動部を駆動制御して賞品球の払出しを行う一方、貸出しボタンへの操作に対応してカードユニットから送られた所定個数の貸球データに基づいて、前記払出し制御部が前記払出し可動部を駆動制御して貸球の払出しを行うパチンコ遊技機において、

複数の入賞口に対して定められた賞品球の払出数の別に対応して複数の入賞検出スイッチを遊技盤に設け、前記主制御部に、前記複数の入賞検出スイッチに対応して払出し個数データを記憶した払出個数設定用テーブルを設け、前記主制御部と前記払出し制御部とのそれぞれに、前記払出個数データを順次保持する払出個数データ記憶部を設けたことを特徴とするパチンコ遊技機。

【請求項 2】

前記払出し可動部から払い出された賞品球及び貸球の払出し経路に、該払出し経路におけるパチンコ球の満タン状態を検出する満タン検出器を設けると共に前記主制御部に前記満タン検出器を連絡し、パチンコ球を遊技盤面に向けて発射する発射装置を前記払出し制御部に連絡し、

前記払出し制御部が、該払出し制御部に前記カードユニットが接続されていることを判別するレディ信号が入力されない場合、または前記主制御部が前記満タン検出器の作動信号に応じて出力する発射停止指令が入力された場合にのみ、前記発射装置の作動を停止するものであることを特徴とする請求項 1 に記載のパチンコ遊技機。

【請求項 3】

前記払出し制御部は、前記主制御部から出力された払出個数データを受ける毎に、前記受けた払出個数データを払出し個数データ記憶部の空き領域に順次記憶すると共に、前記払出し制御部は、払出し個数データ記憶部への払出個数データの記憶が済むと、賞球用の球排出装置に対して前記払出し個数データ記憶部に記憶された払出個数データ分の払出し制御を行うことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載のパチンコ遊技機。

【請求項 4】

前記主制御部に設けられている払出し個数データ記憶部は複数の記憶領域を有し、前記複

数の記憶領域の最初の記憶領域には払出個数データの記憶件数が記憶され、前記払出個数データが前記払出制御部に出力されると出力された分の前記記憶件数を減算することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のうちのいずれか 1 つに記載のパチンコ遊技機。

【請求項 5】

前記払出制御部に設けられている払出し個数データ記憶部は複数の記憶領域を有し、前記複数の記憶領域の最初の記憶領域には払出個数データの記憶件数が記憶され、前記払出個数データの払出制御が完了した分の前記記憶件数を減算することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のうちのいずれか 1 つに記載のパチンコ遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

請求項 2 に記載のパチンコ遊技機は、請求項 1 に記載のものにおいて、前記払出し制御部が、該払出し制御部に前記カードユニットが接続されていることを判別するレディ信号が入力されない場合、または前記主制御部が前記満タン検出器の作動信号に応じて出力する発射停止指令が入力された場合にのみ、前記発射装置の作動を停止するものであることを特徴とする。

また、請求項 3 に記載のパチンコ遊技機は、請求項 1 又は 2 に記載のものにおいて、前記払出制御部は、前記主制御部から出力された払出個数データを受け毎に、前記受けた払出個数データを払出し個数データ記憶部の空き領域に順次記憶すると共に、前記払出制御部は、払出し個数データ記憶部への払出個数データの記憶が済むと、賞球用の球排出装置に対して前記払出し個数データ記憶部に記憶された払出個数データ分の払出制御を行うことを特徴とするものである。さらに、請求項 4 に記載のパチンコ遊技機は、請求項 1 乃至請求項 3 のうちのいずれか 1 つに記載のものにおいて、前記主制御部に設けられている払出し個数データ記憶部は複数の記憶領域を有し、前記複数の記憶領域の最初の記憶領域には払出個数データの記憶件数が記憶され、前記払出個数データが前記払出制御部に出力されると出力された分の前記記憶件数を減算することを特徴とするものである。さらにまた、請求項 5 に記載のパチンコ遊技機は、請求項 1 乃至請求項 4 のうちのいずれか 1 つに記載のものにおいて、前記払出制御部に設けられている払出し個数データ記憶部は複数の記憶領域を有し、前記複数の記憶領域の最初の記憶領域には払出個数データの記憶件数が記憶され、前記払出個数データの払出制御が完了した分の前記記憶件数を減算することを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 5 1】

払出制御装置 1 0 1 は、メイン制御装置 1 0 0 から送信される払出個数データを含む賞球コマンドを受ける。払出制御装置 1 0 1 内の R A M (図示せず)には、図 3 2 に示すメイン制御装置 1 0 0 内の R A M (図示せず)の払出個数データ記憶部と同等の形式の払出個数データ記憶部が設定されている。払出制御装置 1 0 1 は、賞球コマンドを受けると、メイン制御装置 1 0 0 から送信された払出個数データを払出個数データ記憶部の空き領域に順次記憶する。例えば、現在の記憶件数が 4 件で、今回メイン制御装置 1 0 0 から送信された払出個数データが 6 であれば、払出個数データ記憶部の第 6 番目の記憶領域に今回送信された払出個数データとして 6 が記憶されると共に、記憶件数が 1 つアップして記憶件数が 5 となり、記憶件数「5」が払出個数データ記憶部の最初の記憶領域に記憶される。このように、払出制御装置 1 0 1 は、メイン制御装置 1 0 0 から送信された払出個数デ

タを受ける毎に、受けた払出個数データを払出個数データ記憶部の空き領域に順次記憶する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 6 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 6 7】

【発明の効果】

本発明のパチンコ遊技機によれば、遊技盤面において入賞が発生すると、賞品球の払出数の別に対応して遊技盤に設けた入賞検出スイッチの入賞検知に応じて、主制御部が払出個数設定テーブルから入賞検知した入賞検出スイッチに対応する払出個数データを読み出し、読み出した払出個数データを設定個数データ記憶部に順次記憶して保持し、主制御部から払出し制御部に払出個数データを順次送信し、払出し制御部が主制御部から送信された払出個数データを受ける毎に、受けた払出個数データを払出個数データ記憶部に順次記憶して保持するので、遊技盤面において入賞が集中して発生した場合であっても、一時的に集中して発生する払出個数データを主制御部の払出個数データ記憶部及び払出し制御部の払出個数データ記憶部で保持することができ、賞品球の払出し制御が安定して確実に実現できる。なお、請求項 3 乃至請求項 5 に記載の要件に関わる補正事項に対応する、願書に最初に添付した明細書（以下、原明細書という）における記載箇所は、原明細書の段落 0 1 4 8 乃至段落 0 1 5 4、図 3 1 及び図 3 2 に記載されている事項です。